



まちのできごと

1/23 町民大学 心の病にならないために

町民大学の第5講が町民センターで開かれ、旭川医科大学の吉岡英治准教授が「働く人のメンタルヘルス」と題して講演を行いました。吉岡准教授は「うつ病は誰にでもかかる病気です。予防にはストレスへの気づきが重要になりますが、自分で気づくのは難しいものなので、同僚や家族でお互いに気づき合ってほしい」と説明。参加者は、熱心にメモを取り、真剣に講義を受けていました。



↑うつ病について説明する吉岡准教授

↓マジックを成功させてポーズをとる子どもたち



1/1 ホテル日の出岬元旦イベント ワクワク、ビックリ!

ホテル日の出岬で元旦イベントが開かれ、町民や町外からの宿泊客などがもちつきなどを楽しみました。併せて「世界一下手な手品師 Mr. ゼロマジックショー」が開催され、ひもや鉄の輪などを使ったマジックを披露。ショーの中では、マジックのタネをばらしてしまうといった愉快なトークに、会場からは大きな笑いや拍手が送られていました。

↓分列行進をする団員たち



1/4 雄武消防団出初式 地域の見守りに協力

雄武消防団による伝統の出初式が行われました。消防団は錦町の海岸線から迫力ある分列行進を披露し、その後支署内に場所を移し、消防活動に尽力した団員らの表彰を行いました。中川原町長は「消防団の原動力は郷土愛。安心して暮らし続ける地域づくりに一層の活躍をしてください」と激励の言葉を贈りました。参加した団員たちは、町民の生命と財産を守るという使命感を胸に、防災への誓いを新たにしていました。

1/28 こども冬まつり 寒さに負けず

こども冬まつりが旭日公園を会場に行われ、多くの子どもたちが、かまくら作りやスノーラフティングなどの冬の遊びを満喫しました。中でも、大きなゴムチューブに乗り、雪山から一気に滑り降りるチューブ滑りに、子どもたちからは大きな歓声が上がっていました。お昼にはボランティアによる温かいココアやシチューなども振る舞われ、子どもたちは寒さもものともせず、大いに楽しんでいました。



↑チューブ滑りを楽しむ子どもたち

↓中川原町長(左)と感謝状を持つ花田一夫氏(右)



12/27 寄附に対する感謝状贈呈 雄武町のために

花田一夫氏が、議員を退任されたことを機に町に2,700万円の寄附を行ったことに対して、町から感謝状が贈呈されました。

花田氏は「議員になった時から雄武町に寄附をするために、年100万円を積み立ててきました」「私も建設に関わった、ホテル日の出岬のためにソーラー発電設備の建設費用として使っていただきたい」と話しました。

中川原町長は「ご希望に添える形で、使用させていただきます」と、建設に尽力することを約束しました。

12/29 ピカピカ大掃除 1年間の汚れを綺麗に

いつも児童センターを利用している子どもたちが、日頃の感謝の意味を込め大掃除を実施しました。子どもたちは手分けして館内の掃除を開始。手すりを掃除していた子どもたちは「思ったより汚れていてびっくり」と言いながら一生懸命に拭いていました。最後には、全員で床の雑巾掛けをし、綺麗な館内を見て「疲れたけど、がんばってよかった」「綺麗になってうれしい」と満足げに話していました。



↑みんなで一緒に雑巾掛けをする様子

↓下敷きスキーを作る参加者



1/21 冬季めだか塾 飛べ! 下敷きスキー

子ども育成会主催の冬季めだか塾「下敷きスキー大会」が町民センターで行われました。

子どもたちはプラスチックを細長く切ったスキー板に好きなイラストを描き、重りの位置を調整して自分だけのオリジナルスキーを作りました。その後会場を外に移し、雪山のジャンプ台では3mを超える記録も飛び出しました。最後に餅つきも行われ、子どもたちは充実した一日を過ごしていました。